

「作見の井戸」 1/5 今年の結果は？

寒の季節の水位結果で、その年の米の作況を占う深谷地区の「作見の井戸」。

水位2.25m位を普通作とし、それ以下は不作。2.26m以上は良作。3.6mの満水は大豊作とされています。

寒の入り（小寒）に水位を測定したところ、2.5m。今年は“良作”が予想されとの結果でした。占い通りの結果を期待したいものです。



▶水位を測る村職員ら



▲重要物搬入訓練のようす

飯樋町の浄観寺（寺岡清之住職）で、「第52回文化財防火デー消防訓練」が行われました。

この訓練は、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて、消防飯館分署や村教育委員会などが、村内のお寺および神社を会場に実施しているものです。

この日は、檀家の代表や村文化財保護審議会、飯館分署職員など30人が参加しました。

訓練は、「お寺の裏から出火し、古文書が保管されている本堂に延焼の恐れがある」との想定で開始され、檀家の代表らによる重要物搬出訓練および消火器を使った初期消火訓練などが行われました。

1/21

文化財防火デー 消防訓練

みんなの ひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613



村教育研究会（荒川秀則会長・飯樋小学校長）主催の「教育講演会」が、村公民館で開かれました。

この日講師を務めたのは、本県出身のフォークグループ「阿呆鳥」の菊池章夫さんと金子透さん。

講演会では、「自分を見つめて」と題し、実体験を紹介しながら、子どもたちの係わり方などを講話したほか、10曲以上にわたり持ち歌を披露しました。

会場には、教育研究会員や村民など約100人が訪れ、講話や歌声に聞き入っていました。



▲楽しいハーモニーを聞かせた菊池さんと金子さん

1/20

心に響く講話と歌声 教育講演会

藤井慶介君 冬の都大路を力走



▲全国大会に出場した原町高チーム（前列右から4人目が藤井くん）

12/25

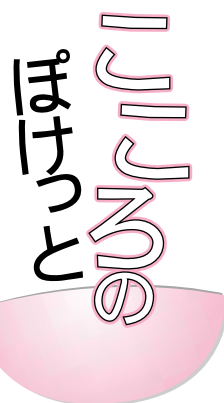
全国高校駅伝

京都府で行われた「第56回全国高校駅伝競走大会」に、福島県代表として初出場した原町高校。メンバーの藤井慶介君（上飯樋）が出場し、第5区3kmを走りました。

チーム成績は39位と、当初の目標には及ばなかったものの、藤井君はチームで唯一設定タイムを上回る走りでの次の区間へタスキをつなぎました。

大会後、藤井君は「初出場でも緊張しました。この経験を今後につなげたい」と話していました。

子どもを信じよう



今年もまた「子ども議会」が開催されました。村内3つの小学6年生が、それぞれの学級で話し合われたことを、私たち村に「子ども議員」として質問するという学習です。

いつものことですが、「いい質問だ」、「たいしたもの」、「あなどれない」、「むしろ教えられる」ということが、今回も多くありました。

特に感心したことの一つに、「実に具体的で率直な質問」ということです。「子どもゆえに当たり前」と言えばそれまでですが、「分かりやすい行政」がこれからのあり方だとすれば、このことはとても重要であり、村も議会も今後見習わなければならないことでもあります。

したがって、答弁する方も大人の議会とはまた違った意味での「気遣いの答弁」だったので、終わった時どつと

疲れが出てしまいました。

感心した二つ目は、かなり勉強しているということです。分かりやすくするための図表や写真を使ったり、あるいは子どもたちの社会参加への具体的な提案を、資料を作って配ったりと、私たち専門行政職員、顔負けの提案内容でした。

今、子どもの色んな問題が毎日のように起きています。原因の一つに「子どもなんだから」と、私たち大人は子どもを「子どもの世界」や「学習だけの世界」に閉じ込めているということが、挙げられるのではないのでしょうか。

もっと子どもが、社会に目を向けたら、大人と接していく機会を多くつくっていく必要があるのだらうと思います。

私の友人の町長は、中学生・高校生に「町長選・町議選」を実施してもらい、年間予算をつけて事業を進めてもらうという事業をしています。これから色んな方法で、世の中の中心に子どもを据え、一緒になって考えたり行動し、社会全体の中で育てていくという仕組みを、村がつくっていきたいものと考えているところです。

平成18年1月30日

飯館村長 菅野 典雄

多田宏さんに 1/11 法務大臣感謝状



▲菅原支局長から感謝状を受け取る多田さん（写真右）

昭和54年から昨年まで、人権擁護委員を26年にわたって務められた多田宏さん（宮内）に、法務大臣感謝状が贈られました。

人権擁護委員は、国民の人権が侵害されないよう監視し啓発活動を行うほか、人権が侵害された場合には相談を受け救済のため適切な処置をとるなどの活動をしています。

贈呈式は役場で行われ、福島地方法務局相馬支局の菅原支局長から多田さんに感謝状が手渡されました。



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ 親の氏名 行政区
鈴木 翔くん 俊 矢・千恵子 佐 須
すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏 名 行政区
佐 藤 正 行 大 倉
櫻 井 春 美 宮城県角田市
いつまでもお幸せに

お く や み

氏 名	年 齢	行政区
菅 野 政 見	80	長 泥
杉 下 一 好	77	長 泥
只 野 勝 吉	68	小 宮
木 幡 金 作	80	草 野
佐 藤 ヨシノ	92	八木沢・芦原
佐 藤 サツヨ	84	関根・松塚
菅 野 シケノ	97	上 飯 樋
齋 藤 正 克	55	飯 樋 町
齋 藤 清 見	76	前田・八和木
佐々木 ヒ デ	83	佐 須
井 上 ケサ子	75	関 沢
赤石澤 美 子	67	飯 樋 町
星 アサヨ	84	八木沢・芦原

ご冥福をお祈り申し上げます

(平成17年12月21日から平成18年1月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出て下さい。

ひとのうごき

(平成18年1月1日現在)

人 口	今月 (前月比)	昨年同期
男	3336人 (-2人)	3373人
女	3372人 (+4人)	3429人
計	6708人 (+2人)	6802人
世帯数	1743戸 (-1戸)	1862戸

◆◆◆ 12月1日～31日までの人口動態 ◆◆◆
転入 14人 転出 7人
出生 6人 死亡 11人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)
昨年同期は、平成12年国勢調査に基づく現住人口

防災への決意新たに 飯舘村消防出初式

1/6



▲式典のようす

「平成18年飯舘村消防出初式」が村公民館にて行われ、参加者らが地域防災の意識を新たにしました。
今年の出初式には、消防団員や婦人消防隊員、役場職員消防隊員など約220人が参加。
式では、はじめに公民館前駐車場にて、菅野村長らが団員の装備等を観閲しました。
公民館大ホールに会場を移して行われた式典では、松林茂団長と菅野村長から「団員の皆さんには、地域住民の安全確保のため、新たな決意をもって活動していただきたい」とあいさつされたに続き、北原昇村議会議長と加藤貞夫県議会議員からそれぞれ祝辞が述べられました。

相馬地方広域消防本部の統計資料によると、昨年村内で発生した火災件数は8万件で、損害額は約4200万円。これは、前年と比較して3件、損害額で約3800万円多い数字です。
今冬は積雪も多く、厳しい寒さが続いていますので、火の管理等に十分ご注意ください。



▲観閲する菅野村長ら

小学生たちが 村づくりに質問・提案

1/24

第6回子ども議会



▲子ども議会のようす

「第6回子ども議会」が役場内の議場で行われ、子どもたちが村の課題や今後の取り組みなどについて質問・提案しました。
これは、社会科の学習の一環として、子どもたちに模擬議会を通して政治への理解を深めてもらおうと、村教育研究会(荒川秀則会長・飯樋小学校長)が、村内の小学6年生を対象に毎年行っているものです。
議会は、一般質問の形式



▲週末子ども企画の実施を提案



▲議長を務めた高橋智貴君(白石小)

で進められ、各校の代表から「村の公害の現状と対策は」、「遊べる施設の建設予定はあるか」、「公園の管理や整備の状況は」などの質問が出され、村長や各課長がそれぞれ答弁しました。
最後に、各校から今後の村づくりに関する施策として、「子どもたちが遊べる週末企画の実施」、「スクールリーダーの増員」、「あいの沢の活用」の3つが提案され、それぞれ賛成多数で承認されました。



▲写真を使いなから質問をする子どもたち

佐々木千栄子さん どぶろく製造免許 取得第一号

1/16

佐々木千栄子さん(佐須)に、相馬税務署から酒造免許が付与されました。

これは、村が認定をつけた「どぶろく特区」に基づく濁酒製造免許で、県内でこの免許が付与されたのは佐々木さんが初めてです。

佐々木さんは今後、2月末までに自家製濁酒を製造し、当面は経営する農家レストラン「きまぐれ茶屋ちえこ」で客に提供するほか、将来は製造所内での瓶詰め量り売りも計画しているとのこと。



▲菅野村長へ免許取得の報告に訪れた佐々木さんご夫婦